

電子複写不可

返還資料

第六十二師団副官部
陣中日誌
(昭和二十年一月〜二月)

防衛研究所戦史室



3720
-24

沖
沖 編
97



附	部	官副級次	官副級高
	衛		

軍事極秘

控

自昭和二十年一月一日
至昭和二十年一月三日

陣日第十九號

陣中日誌

第六十師團副官部

一月一日 二、一〇〇〇ヨリ司令部位置置ニ於テ四方拜 遙拜式ヲ舉行ス

最高一七度 八師團長羊頭ノ辭左ノ如シ

最高一七度 油斷ヲスルナ

仲間村 日常ノ才任事ニ油斷カク事ヲ將來大キ任事ヲ成遂允

行 各自持場ぐテ油斷カク事ヲ作戦遂行上重大ナトスル

四方拜 朗カニヤレ

命 常ニ健康ニ注意シテ健全ナル身心ヲ以テ朗カニヤレ

令 令ニ別紙左記命令令會報ヲ下達ス

石兵團日日命令第一號

部内日日命令第一號

石兵團會報第一號

空襲警報 三、敵機四機高度約七千米ヲ與那原上空ヲ南方ヨリ侵入キトノ

情報ニ持ス

二、〇九四〇空襲警報發令セラル

敵機影ハ明瞭ニ發見シ得ツロモ空襲警報解除セシム	命課換四第空師團副官三浦中佐ハ上月三日附獨歩兵第十大隊長ニ補シテ陸軍經理官技長隊中隊長原中佐ハ同副官ニ補シテ	慰問演藝 五〇〇ヨリ約二時間新朝尉問團新垣保氏等土名慰問演藝ヲ實施ス地方側ニモ觀覽セシメタリ	非常演習 六日直士官八二四〇非常演習ヲ實施ス背裏ヲ除ク軍裝ヲ平良國民學校迄駐足演習後〇ニ解散ス	勤 務 七日直士官 大橋少尉	司 下士官 岡部伍長	部隊衛兵 秋田兵長以下五名	八本日ニ於ケル人馬數	人員 將校九 准下士官二六 兵一三一	判隻官一 備 人四 計一六一	馬匹 日本馬一三
-------------------------	--	--	---	----------------	------------	---------------	------------	--------------------	----------------	----------

(納谷與京東)

第一號

石兵團日日命令

十一月一日 大日本國民學校

一 石第一八八二部隊經理部附 陸軍主計軍曹 工藤 正智
任陸軍主計曹長

二 副官部管理班勤務 石第一八八二部隊 陸軍上等兵 辻村 鶴次
同 陸軍上等兵 渡邊 幸助

石第一八八二部隊勤務ヲ命ス
頭書、通服務スベシ

配布先 關係部隊

第一號

部内日日命令

一月一日一六
浦 添 國民學校

一 石第八八二部隊副官 陸軍中佐 三浦日出四郎

補石第三五九二部隊長

陸軍經理學校生徒隊中隊長 陸軍中佐 原 研介

補石第八八二部隊副官

(對二朝三十省)

二 西部隊十部隊附 醫官見習士官

原田 徹

石第八八二部隊獸醫部附 命一ス

(十二月五日附)

第一號

石 兵 團 會 報

一月一日 浦添國民學校

十一月三十日附左通發令セラレタリ

石第三五九二部隊長 陸軍中佐 福井哲亮

補東部軍司令部附兼陸軍法務訓練所附

石第一八八二部隊副官 陸軍中佐 三浦 昌四郎

補石第三五九二部隊長

陸軍經理學校生徒隊中隊長 陸軍中佐 原 研介

補石第一八八二部隊副官

配布先 旅團、步兵大隊、直轄、指揮下、各訂班

一月二日	別紙左記命令ヲ下達ス	最高一九度	部内日命令第一號	最高二九度	二管理班山中尉外三名衛兵隊加藤曹長以下七名配備変更ニ	最高三九度	二管理班山中尉外三名衛兵隊加藤曹長以下七名配備変更ニ	最高四九度	二管理班山中尉外三名衛兵隊加藤曹長以下七名配備変更ニ	最高五九度	二管理班山中尉外三名衛兵隊加藤曹長以下七名配備変更ニ	最高六九度	二管理班山中尉外三名衛兵隊加藤曹長以下七名配備変更ニ	最高七九度	二管理班山中尉外三名衛兵隊加藤曹長以下七名配備変更ニ	最高八九度	二管理班山中尉外三名衛兵隊加藤曹長以下七名配備変更ニ	最高九九度	二管理班山中尉外三名衛兵隊加藤曹長以下七名配備変更ニ
勤	務五日直下士官	水船	伍長	部隊衛兵	高村伍長以下五名	人員	將校九	准士官二六	兵二九	判受官一	備人四	計一五九	馬四	日本馬一三					

(納谷興・京東)

第二號

部内日日命令

一月二日一六〇
清添國民學校

一 副官部管理班勤務 石第五九師隊 陸軍上等兵 池田善之
 衛兵隊勤務 石第五九師隊 陸軍一等兵 松井定男
 石第五三二五部隊 入院ヲ命ス
 二 左ノ通出張ヲ命ス

同	同	同	一月二日即歸隊	農自隊期間行	先	務部班	官等	氏	名
同	同	同	球軍医部及 隊第四〇部隊	業務連絡及 防疫指導ノ為	軍醫部	軍醫少尉	飯塚良吉	飯塚良吉	純
同	同	同	業務連絡ノ為	業務連絡ノ為	管理班	同	西山一男	西山一男	稜
同	同	同	火砲修理部員長	火砲修理部員長	管理班	同	柳田稜	柳田稜	稜
同	同	同	業務連絡ノ為	業務連絡ノ為	管理班	同	池田榮次	池田榮次	次
同	同	同	衛生隊	衛生隊	管理班	同	外藤敏太郎	外藤敏太郎	敏
同	同	同	衛生隊	衛生隊	管理班	同	外藤敏太郎	外藤敏太郎	敏

水月三日晴
一、二、三、四、師團長ハ各部隊長ヨリ新年ノ祝詞ヲ受ケタル後

訓示セラル

別紙左記命令ヲ下達ス

令仲間村
部内日日命令第三號

空襲警報
三ノ〇九一五空襲警報發令セラレ

二、敵艦載機約四〇機高度約八千米ヲ以テ本島ニ侵入シ小

綠飛行場附近ヲ爆撃ス

六、衛兵隊加藤曹長以下三上名直ニ對テ空射撃ノ部署ニ就

キ待期セリ

又對空射撃部隊以外ハ書類其他ヲ掩蔽訂ニ收容シタル後

人員モ勉メテ掩蔽ス

五、〇九五〇敵機ハ東南方ニ退去ス

六、二一五空襲警報解除セラレ

夕、週番諸官ハ空襲ニ對テ處置ヲ立案シ兵士ニ掩蔽ヲ通

切スルヲ要ス

昇 給 四副官訂勤務獨歩兵第三大隊青山軍曹小川軍曹山口

軍曹八士月三日附二等給ヲ給セシ

出 表 五管理班西中尉土屋主計少尉衛兵隊加藤曹長以下七名引

續キ準備作業多首里市ニ出表シ業ヲ終了夫々歸隊ス

勤 務 六訂隊衛兵 小川兵長以下五名

人馬 數 七本曰ニ於ケル人馬數

人員 將校九 准士官二六 兵二九

判官官一 備 人四 計一五九

馬 匹 日本馬一三

第三號

部 内 日 日 命 令

一月三日一六〇日 浦添國民學校

一 給 一 等 給 參謀部勤務 陸軍軍曹

岡田武雄

二 給 一 等 給 參謀部勤務 陸軍曹長

笠喜一

副官部勤務 陸軍軍曹

青山兼春

副官部勤務 同

小川勇

同 同

山口政伸

同 同

石

給 二 等 給

石

三 左ノ 通 出 表 ヲ 命 ス

石

同	同	一月三日即歸隊	行	先 用	務 部 班 官 等 氏	名
同	同	鳩		業務連絡ノ為	軍医少 曹長尉	南 昇
同	同				管理班 曹中尉	西山一男
同	同				衛兵隊 曹長	加藤敏郎

一月四日	一別紙左記命令ヲ下達ス
最高九度	石兵團日日命令第三號
最低七度	訂内日日命令第四號
計周	二二〇〇空襲警報發令敵機本島上空侵入尤モ雲深ク敵
空襲警報	機影ヲ認メ得ズ
勤務交代	二二二〇空襲警報解除セラル
出	三第六師團警備隊附管理班勤務中、柳田中尉及傳令獨 立步兵第三大隊毛利等兵、勤務ヲ危シク原隊復歸ヲ命ゼラル
勤	張四管理班尾形少尉ハ業務連絡爲首里市ニ出張シ任務 終了即日歸隊ス
入馬數	勤 秀五部隊衛兵 山本軍曹以下五名 入馬數六本日ニ於テ八人馬數
前日	同日ニ同シ

第二號

石兵團日日命令

浦一月四日一六國民學校

石第三五九七部隊附

陸軍中尉

柳田

穰

石第四二八三部隊

陸軍一等兵

毛利

秀松

石第八八三部隊勤務ヲ免ス

依而明後六日原所屬ニ復歸スベシ

石第八八三部隊經理部各員陸軍計佐石井徳治

兵團後方施設委員ヲ命ス

配布先關係部隊